

地域包括支援センター名称	日時	参加者(関係機関等)	数	テーマ/目的	検討結果
練馬ゆめの木	R1.6.25	民生委員、町会・自治会、老人クラブ、訪問支援協力員、高齢者食事サービス事業者、介護サービス事業所、生活支援員、医療機関、薬局、行政職員	80人	【テーマ】 地域ネットワークづくり 【目的】 N-impro(ニンプロ)を活用したグループワークの実施を通じて、認知症の方への接し方をどのように伝えていくか、地域の皆で一緒に考える機会を持つことで、地域のネットワーク構築を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域の見守りがあることを知ることができ、良かった。」「希薄だった地域のつながりを強めていくことを大切にしていきたい。」など、今後に向けた積極的な意見を多く戴くことができた。 ・地域の医療機関や薬局にも参加してもらい、ネットワークの構築が進んだ。
高野台	R1.6.14	民生委員、町会・自治会、ボランティアグループ、介護サービス事業所	44人	【テーマ】 地域包括ケアシステムの確立 【目的】 担当地域で活動されている関係者や各機関と地域課題の発見や情報共有を行うことで、ネットワークを構築し、地域包括ケアシステムの確立をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らしでも高齢者の方々が地域で安心して生活できるために、今後どのような活動が必要かを検討した。 ・「地域の交通の便が悪い…皆が出かけていくための手段の確保が必要」「買い物不便…移動スーパーなどの普及が必要」などの地域課題が出された。 ・「今後の活動に大変参考になった」等の意見をいただいた。
石神井	R1.7.24	民生委員、町会・自治会、訪問支援協力員、介護サービス事業者、消費生活センター、警察署、行政職員	40人	【テーマ】 消費者被害にあわないために～地域で取り組む課題と対策～ 【目的】 多様化している消費者被害についての対策や対応を学び、地域としての課題を共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「消費者被害は本人からの相談が少ないので、情報を得るのが難しい。」「知らなかった情報が多く勉強になったので、町会の回覧でも周知しようと思った。」等の意見があった。 ・地域には独居高齢者や認知症高齢者が増えてきているので、そのような方の支援について、様々な立場の参加者が意見を出し合える良い機会となった。
フローラ石神井公園	R1.6.21	民生委員、町会・自治会、介護サービス事業者、配食サービス事業者、ケアマネジャー、薬局、敬老館	45人	【テーマ】 成年後見制度と地域福祉権利擁護事業について 【目的】 成年後見制度について理解を深める。地域資源を活用して、ひとり暮らしの方の支援を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・「フォーマルなサービス導入の前に、インフォーマルなサービス(親しい友人や地域)で見守りながら必要なサービスにつなげると、支援がスムーズに進むのでは」等の意見があった。 ・各参加者は「我が事」として関心も高く、グループワークでは積極的に発言され、支援のあり方について共有できた。
第二光陽苑	R1.7.10	民生委員、町会・自治会、警察署、配食サービス事業所、介護サービス事業所、ボランティアセンター、はつらつセンター、行政職員	31人	【テーマ】 高齢になっても暮らしやすい地域づくりについて ～私は高齢になっても関町北4丁目のこの地域で暮らしたい～ 【目的】 地域課題の共有を行い、その解決に向け、地域で暮らす、働く、活動をされている関係者で話し合いを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・「認知症の方、家族の方を、一緒に支えていける地域づくりが大切」「地域の見守りで、認知症の方が安心して生活できるよう、認知症への理解が必要」等の意見があった。 ・警察署から、認知症高齢者の迷子・行方不明に対して、日頃から心がけてほしい話を聞くことができ、参加者それぞれの立場で意見交換を行なった。
関町	R1.5.31	民生委員、町会・自治会、老人クラブ、ボランティア団体、医療機関、薬局、介護サービス事業所、介護保険施設	45人	【テーマ】 「個人情報保護と高齢者支援」～情報の扱い方と活かし方～ 【目的】 個人情報保護について理解を深める。扱い方と活かし方について、自分たちの立場で話しあう。情報共有し、今後の支援に活かす。	<ul style="list-style-type: none"> ・「グループワークでは、他機関の個人情報保護の取り扱いについて話が聞け、大変有意義であった。」「個人情報の価値について再認識できた。」などの意見があった。 ・個人情報保護と高齢者支援をテーマにしたことで、個人情報を普段どのように取り扱っているのか、気をつけなければならない点はどこかなど、それぞれの立場で考える機会となった。
上石神井	R1.6.25	民生委員、町会・自治会、コンビニエンスストア、薬局、介護サービス事業所、行政職員	52人	【テーマ】 N-impro(ニンプロ)の実施 【目的】 地域で認知症の方をどのように支援していくか、N-impro(ニンプロ)を通じて実践的に考える機会とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「N-impro(ニンプロ)により、視点を変えて自分なら何ができるか、どうすれば良いかなど、様々な意見を聞きながら考える良い機会となった。」「楽しく勉強になった。」等の意見があった。 ・地域の薬局の方が多く参加され、地域での連携が図れる良い土台ができた。